

人事委員会議事録（第1664回）

1 開催日時

令和3年8月4日（水）15:00～15:55

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員長	松田直人
委員	鈴木尉久
委員	長尾真
事務局職員	西村嘉浩
任用課長	森本剛史
給与課長	吉川昭裕
任用課副課長兼給与課副課長	岡野揮代美

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1663回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

資格免許職採用試験1次面接試験合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（8月6日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

第3号議案

障害のある人を対象とする職員採用選考試験実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

県立学校教職員（2.38%）と小中学校など県費負担教職員（0.83%）とで障害者雇用率に差があるのはなぜか。

（事務局）

県立学校は美術など専科が多いが、小学校は体育も含め全教科を教えなければならず、障害者にとって働きにくい面がある。

（委員）

教育委員会で障害者雇用率が達成できていないのであれば、採用予定数の上積みは

できないのか。

(事務局)

退職見込みや配属先の状況等を踏まえると、今年度はこれ以上は難しいと聞いている。

(委員)

障害種別（身体・知的・障害）によって試験問題は異なるのか。合格者の初任給はどの程度か。

(事務局)

職務遂行には高卒程度の知識は必要であり、障害種別にかかわらず同じ問題を出題している。行政B（高卒程度）採用試験と同基準（大卒等の経歴に応じて加算あり）で初任給決定を行っている。

(委員)

障害のある人を対象とした会計年度任用職員の募集は行っているのか。会計年度任用職員は任用年限があるので、長く働ける人には正規職員をめざすよう働きかけてはどうか。

(事務局)

会計年度任用職員でも障害者区分の募集を行っている。昨年度の正規職員の採用試験には、同区分で採用した会計年度任用職員の受験はあったが、最終合格には至らなかった。

(委員)

令和元年度に知的・精神障害者を受験対象者に加えたが、知的障害者の合格者が少ないため、昨年度は申込者の増大を図る働きかけを強化することになっていた。どのような取組を行ったのか。

(事務局)

発達障害者等が一般就労をめざす職業科を有する特別支援学校や職業訓練校を訪問し、生徒の就労状況をヒアリングし、試験の周知を行った。

(委員)

統合失調症の患者などは、薬でコントロールし、ストレスを与えなければ健常者と変わらず仕事ができる。障害を理由に雇用機会を失っているケースもあると思うので、積極的に採用に取り組んでいただきたい。

報告事項 1

任命権者が行った処分

任用課長が、知事及び警察本部長が行った3件の懲戒処分等の内容及び理由を説明した。

報告事項 2

新県政推進室の設置

事務局長が、標記組織の新設について説明した。

(委員)

新県政推進室の設置に伴い、室長以外にも人事異動が行われるのか。

(事務局)

現時点では、新県政推進室に設置する職や人員の詳細は把握できていないが、何らかの人事異動が行われるものと考えている。

閉 会